

水曜祈禱会 バイブルスタディー & 祈りの課題

---

コリント教会へのパウロの手紙 I

## 「コリント教会へのパウロの手紙」のポイント

## 1 コリント教会への手紙のアウトライン

## A：教会の問題についての対処

- (1)教会の分裂について(1章10節～4章21節)
- (2)教会の無秩序な状態について(5章1節～6章20節)

## B：教会の質問に答える

- (1)クリスチャンの結婚に関する教え(7章1節～40節)
- (2)クリスチャンの自由に関する教え(8章1節～10章33節)
- (3)礼拝に関する教え(11章1節～14章40節)
- (4)復活に関する教え(15章1節～16章24節)



## 「コリント教会へのパウロの手紙」を読んでみよう

## 1 今日の聖書箇所：4章1節～8節

## 2 今日のポイント：創造主が判断されるから

## (1)前回までの復習

3章の後半で、パウロは私たちを「創造主の住まい」「創造主の聖霊が宿っておられる」と表現し、クリスチャンひとりひとりの大切さを説きました。当時のコリント教会では自分が良いと思う指導者以外は劣っていると評価したり、自分の主張と合わない人々を見下すような雰囲気がありました。そのような人々に対して、パウロは、他人を壊すような態度を取るとは、創造主の宮を壊す事であり、それについての報いはそれぞれが受けなければならないと忠告しました。

## (2)信徒とは？

パウロは4章の1～2節で、自分が上だとか、自分の主張が他の主張より優れていると争っている信徒に対して、信徒は何かについて語りました。「誰も皆私たちの事を、キリストに仕えるしもべ、また、創造主の奥義を管理する者と考えて欲しい」と語りました。パウロ自身はもちろんの事、コリント教会の一人一人の信徒にも自分自身がどのような者であるかを認識して欲しかったのです。「キリストのしもべ」という表現は、キリストから命じられたことを行い、人々の顔色を伺ったりご機嫌をとる存在ではなく、イエス様の為に仕える存在だという事を示しています。また「創造主の奥義を管理する者」という表現には、十字架に示された救いという創造主の奥義を自らの中だけで留まらせるのではなく、その意味をきちんと理解し伝える管理者のような役割が与えられているという意味がこめられています。

3節ではそのような者に求められるのは「忠実」だとパウロは語りました。新改訳聖書では「忠実であることが要求されます」と記載されました。この「要求されます」と翻訳された古代ギリシア語は「判明する」という意味合いが強い言葉です。普段から「キリストのしもべ」として「奥義の管理者」として歩んでいる姿を創造主がご覧になるときに、その人が「忠実であることが判明する」という意

味合いになります。人々の噂や評価ばかりを気にしていたコリント教会の人々に対して、本来の信徒は創造主の前で忠実な者であれというパウロの強い願いが込められた言葉です。

#### (4)私を裁くのは創造主です。

パウロは続いて3節～8節の中で「人々の評価と創造主の評価」という立場から言葉を述べています。3節では「あなたがたがどのように判断しようとも、そんな事は少しも意に介しない」と語り、また4節では「私についての正しい評価は、主が最後の日になさるのである」と語りました。パウロは、人々からの判断を意識しすぎて、人々に認められようとして何かをしようと、失敗したり、サタンの罠に陥り易くなる事を語りました。またパウロ自身は、4節で「何もやましいところはない」と語り、自分自身の中では最善を尽くして歩んでいる事を強調していますが、それでも、自分で自分の事を公正に判断する事はできないので、最終的な判断は創造主がなさると、判断の主体を創造主とする事の大切さを訴えました。

また、5節では、創造主がそれぞれの人の心の中までご覧になられて裁かれるので、人々同士では「決して先走りをして裁いてはならない」と語りました。人間に見えるのは、相手のごく一部であり、ましては相手の心の中にある思いは完全に知ることなど不可能なのです。ですから、人間同士で、先走って相手を判断し、裁いてはならないと語りました。

教会では目に見えない方々が、見えない場所で奉仕しておられ、祈っておられます。また、私たちの知らないところで伝道をし、聖書に従っている人々もいるのです。ですから、私たちの働きが人々に評価されなくても、落ち込む必要はありません。創造主は全てをご存知なのです。

6～8節では、自分たちが偉大だ、優秀だと思っていたコリント教会の信徒、クリスチャンと言いながら創造主の助けが日々あることなどすっかり忘れ、自分自身の生活が自力によって満ち足りていると思っているコリント教会の信徒、イエス様が私たちの王であられるにも関わらず、自らが自分の人生の王として君臨し歩んでいるコリント教会の信徒へ、謙遜になるように語りかけました。

### 3 分かち合ってみましょう

私たちの社会では、自分が努力をし、それを認めてもらうことが大切だという風潮です。自分が頑張った分だけ認められ、報酬へ影響し、社会のステータスに反映されるべきだという考え方です。しかし、教会は少し違います。教会で一番努力をし、支えている人はほとんど評価されなかったり、公で認められ、褒められる事は少ない場合が多々あります。それでも、人々が黙々と奉仕をし、黙々と祈り、黙々と伝道するのはなぜでしょうか。それはパウロが今日語ったように「私についての正しい評価は、主が最後の日になさる」からです。人々からの評価や賞賛よりは、誰も見ていないところでも「(主の目から見て)忠実だと判明する」ほどに忠実に主に仕えて参りましょう。私たちの働きで、主に忠実な部分はどんなところでしょうか。また、人々の評価を気にしていた働きはどんなところでしょうか。

**1** 教会共同体と記念館の為に

## (1) ビジョン達成のために

- ① 「創造をベースに、99%へ福音を」という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。
- ② 2021年度ビジョン「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。  
クリスチャン一人一人が、主に繋がり、主に強められるように。

## (2) 教会のため

- ① 教会の本質的な働きー礼拝と伝道の働きの為
- ② 教会の共同体の関係祝福のために
- ③ 教会の霊的成長・成熟のために
- ④ 地域との関係

## (3) ノアの箱船記念館のため

- ① ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様。
- ② ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為

## (4) 教役者のために

- ① 堀越葉満主事のため ② 宮崎聖牧師家庭のため

**2** 教会員の為に

## (1) 病にある方々の為に・平安があります様に

[Redacted]

## (2) 教会からしばらく離れている方の為

[Redacted]

## (3) 次世代の為に

- ① 日曜学校の祝福の為
- ② ユースの為に(ユースの学び・恋愛結婚・職場での祝福・海外にいる若者・他住の若者)

## (4) 今月の祈禱課題の方々のために

[Redacted]

**3** 伝道と宣教の為に

## (1) 洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

[Redacted]

## (2) 受洗後の学びをされている

[Redacted]

## (3) 伴侶の救いの為

[Redacted]

## (4) 伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

- ① レプトン ② ゴスペル・フラ ③ 卓レシア ④ 女性集会 ⑤ 創愛クラブ ⑥ クラフトカフェ
- ⑦ ノア・パーク

## (5) ログス・ホープ号乗船

[Redacted]